

市債ってなんだろう？

公共施設を建設・整備・改修するために、国や金融機関などから借りるお金を「市債」といいます。

おうちでも、家や車など、金額の大きなものを買うときにはローン(借金)を組むことがあると思います。札幌市でも、公園や学校、道路など、みんなが長期間利用する大きな施設を建てたり、点検・修理したりするときには、ローン(借金)が組まれています。

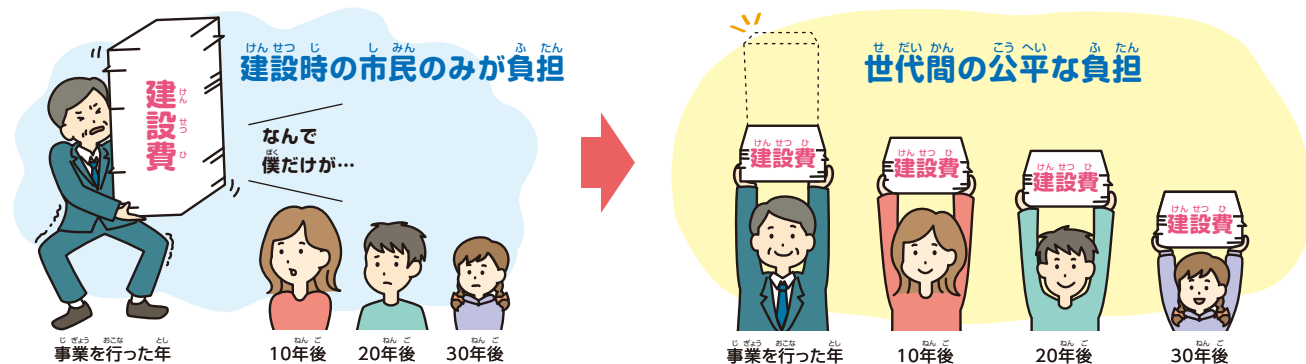
5ページの支出の借金残高のところだね。

何年ローンにしようかな？



なぜ借金をするの？

もしも借金をしないで、その1年間の税金だけで公共施設を建てると、その事業を行った年にかかるお金はとてもの大きなものになってしまいます。そうすると、その年に住んでいる市民の税負担も一時的に大きくなってしまいます。



公共施設はみんなが長く使うものだから、そのためのお金は、将来そこに住む人や、次の世代の人にも公平に負担してもらう仕組みになっているんだよ。

今の札幌市の市債はどのくらいになるの？

令和7年度末 市債残高見込み

合計 1兆6,915億円

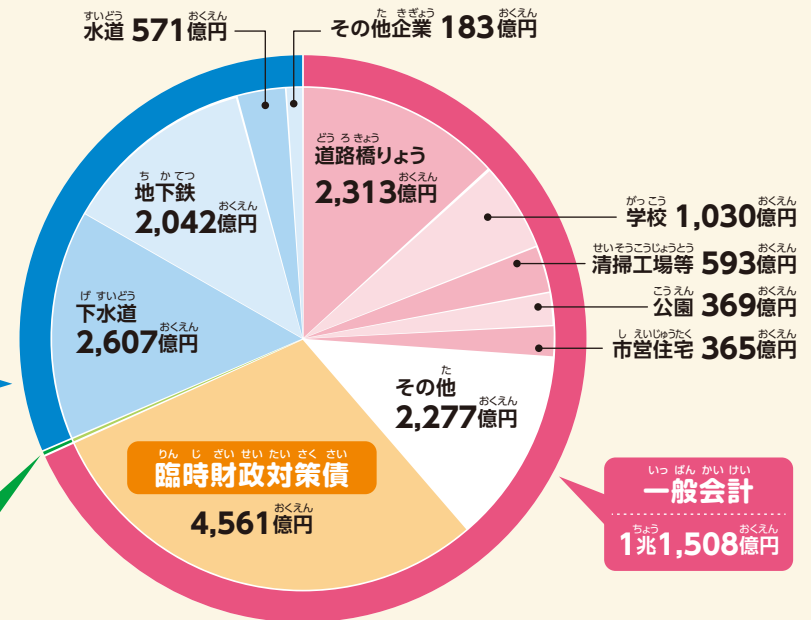
市民一人あたり市債残高62万8千円

※臨時財政対策債を除く。

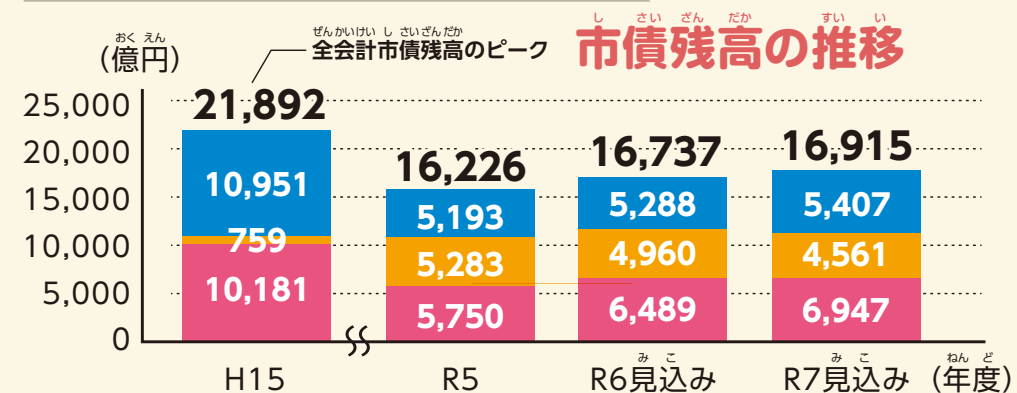
「臨時財政対策債」とは？

国から現金でもらうべき地方交付税が不足したときに、自治体が不足額を立て替えるためにする借金です。これも市債になりますが、翌年度以降の地方交付税として自治体に戻ってくるお金です。

企業会計 5,404億円
特別会計 4億円



毎年の残高はどうなっているの？



そんなに借金をしても大丈夫なの？

今のところ札幌市は問題なく借金を返済できています。以下の基準を下回っていることから、おサイフが健全なことがわかります。



※早期健全化基準の数字を上回ると、財政健全化への取り組みが必要になります。
※どちらも令和5年度決算の指標です。

クイズにチャレンジ!
答えは次のページにあるよ。

Q4. 公共施設は次の中のどれでしょう? ①学校 ②道路 ③市営住宅